

# 高校への期待を胸に入学

4月8日に入学式が行われた。コロナ禍のため、保護者は2名まで、来賓は同窓会長とPTA会長だけで開催された。コロナ禍前は、校歌は生徒の有志で歌われたが、今年は昨年引き続き、CDでの演奏となった。合格発表から約3週間で、制服や教科書等の準備を終え、まだあとけなさいの残る新入生は、真新しい制服で入場した。今日から始まる

高校での勉強への期待と不安、また、新しい人間関係に対する期待と不安を胸に、体育館に入ってきた、141名の新入生の表情は、少し硬かった。 榎本校長先生は、羽昨高校が「自主性の確立と文武両道の実践」「教養と学習の高揚」「社会に貢献する人材の育成」を目標に掲げ、一人ひとりに応じた、きめ細やかな指導を展開するこ



入学式で宣誓する竹屋君

とを挙げ、自ら課題を発見し、主体的に解決する力を含めた確かな学力の育成に努めることを宣言した。新入生に対しては、答えのない問いに対し、皆が協力して立ち向かうために必要な力を、本校での3年間に培ってもらうことを希望すると述べた。その上で、「これからの未来に様々な可能性をもたらすが、皆さんだと信じています」と新入生への思いを熱く語った。

1年生の学年主任の中野先生は、「自分の目標を持ってそれに向かって一生懸命に努力する生徒、途中で出れないと諦めるのではなく、「為せば成る」の精神で何事にも取り組む生徒になってほしい」と語る。式の後、生徒はクラスに入り、ロングホーム、保護者は会場に残り、学校の説明を受けた。

翌日は、オリエンテーションで、予習の仕方や学校生活の心構え、生活の流れなどの説明を受けた。部活動紹介は、動画での紹介となったが、どの部の動画もそれぞれ個性があり、その部の良さが伝わってくる動画だった。1年生の部活動加入率は高い。



応援合戦で最優秀賞を獲得した5組連合

6月16日に体育祭が行われた。石川県高校総体・総文の後、5つの連合に分かれて、選手を決めたり、応援練習をしたりした。 今年は、1組連合がピンク、2組連合がデイズ、3組連合がターコイズブルー、4組連合がパール、5組連合がグリーンの色をチームカラーとした。昨年度から、1学年が4クラスとなったため、1、2年生は、クラスに関係なく、5つの団に振り分けられた。 開催に当たって、新型コロナウイルス感染対策を徹底した。手洗い、うがいの励行の他、各連合に消毒液

を配置、また、競技に出るとき以外はマスクの着用をするなどである。 最初の種目は、50年以上続く羽高体操である。練習の成果を連合で競った。2種目は応援合戦で、連合ごとのカラーが表れる演技が繰り広げられた。限られた練習時間であったが、昼食時間や生徒会で決められた練習時間で3年生が下級生を教え、練習を繰り返して形にした。演技途中の掛け声は例年よりも元気であり、見る側から歓声が上がった場面もあった。 各競技の優勝は次の通りである。

運合対抗競技	羽高体操	3組連合
エレガンス賞	3年男子	外岡諒汰朗
	3年女子	桜井美咲
	2年男子	若松弘太
	2年女子	橋本帆乃花
	1年男子	山村玲央
	1年女子	三波風紗
応援合戦	5組連合	
	2年タンボール運び	4組連合
	1年追いかけてこ玉入れ	4組連合
	3年障害物リレー	2組連合
綱引き	3組連合	
連合リレー	1組連合	
「クラス対抗競技」	8の字跳び	
	3年	3組 603回
	2年	1組 763回
	1年	2組 639回
	総合	5組連合

## 5組連合が総合優勝 8の字跳びで763回の大記録

## 雨の中でもいっいひととき



傘をさして昼食を摂る1年生

4月28日に、各学年で選足が行われた。当初、行先は、3年生が中能登町の「古墳公園とりや」、2年生は宝達志水町の「古墳公園」、1年生は宝達志水町の「志雄やわらぎの郷」を予定していた。しかし、当日は天候模様があやしく、午後からは雨の予報であったため、1、3年生は予定通り現地まで行ったが、2年生は途中の運動公園で活動をした。 3年生は、例年、バーベキューをしていたが、今年は、新型コロナウイルス感染症の対策として、バーベキューは中止で、グラウンドゴルフを楽しむ予定であった。しかし、雨のためできずに、現地での時間を思い思いに楽しんだ。

2年生は、志雄の運動公園に行った。体育館と多目的広場がある施設である。体育館で、グループエンカウンターを行った。「頭星人、腰星人」などのゲームのおかげで、室内では飛ぶようになった。しかし、初めて外でとんだ時、風が吹いていたり、グラウンドが雨で濡れていたこともあって遊んだ。 高校で初めての選足に行った1年生は、最初は「歩けるかな?」という声がかかっていた。体育祭が近づくと、皆でやわらぎの郷に到着することができた。昼食の途中で雨が降ったため、傘を差しながらの昼食となった。その後、私は散歩をするなどして親睦を深めた。

最近、緊張したことがある。それは体育祭だ。「祭り」といえば、楽しく騒げる行事のイメージがあったがそうではなかったのだ。▼1つは、羽高体操だ。羽高体操は、50年以上受け継がれている伝統の動画を見た時、覚えられないはずがないと思ったが、何とか覚えることが出来て安心した。▼2つ目は、なわとびの「8の字」だ。練習が始まる時に「連続でとばないとカウントされません」と言われたとき、中学の時は間を開けてもカウントされたのに、高校ではカウントされないのかと驚いた。最初、練習したときに引つかかっていたり、連続でとばなかつたりしたが、後ろの人が、走り出すタイミングを教えてください、おかげで、室内では飛ぶようになった。しかし、初めて外でとんだ時、風が吹いていたり、グラウンドが雨で濡れていたこともあって遊んだ。 高校で初めての選足に行った1年生は、最初は「歩けるかな?」という声がかかっていた。体育祭が近づくと、皆でやわらぎの郷に到着することができた。昼食の途中で雨が降ったため、傘を差しながらの昼食となった。その後、私は散歩をするなどして親睦を深めた。 かかることなく終わることができた。しかも、5分経つてもクラスの誰も引つかかることがなかった。▼誰も引つかかかっていないことに気づいたとき、クラスのみんなが、興奮していたと思う。なぜなら、体育の時1回も引つかからず5分を迎えたことがなかったからだ。結果的には優勝できなかったが、私達は満足感と達成感に包まれていた。私は、緊張にひるまずにチャレンジしたことにより、今まで感じたことのない嬉しさを感じた。

## 元気な羽高に



会長 村田 温  
副会長 中村 佳世  
副会長 大坂 空  
書記 田町 悠輝  
書記 勝二 凛奈  
会計 町田 響介  
会計 福山 由佳  
会長の一言  
コロナ禍で規制はあるけれど、ぎりぎりを攻めて全員が楽しめる文化祭にしたい。もうすぐ百周年。明るく元気な羽高を盛り上げるために頑張ります。皆さん、ついてきてください。

学校は集団的教育の場だ。学校の特徴は、他者との関わりが求められることだ。他者と関わることで他者理解が深まる。その他者と自分を比べることで、自分への理解が深まる。他者との関わりは、人を必ず広げる。更に、学校では様々な体験を積み、学校とは、人と体験によって、自分の世界が広がる場所だ。 まず、先生との出会いだ。先生とは学校生活の様々な場面で関わる。入学の事前説明会でのことだ。待ち時間の間、担当の先生と楽しく会話をした。様々な質問に、先生は返してくられた。私はそれが嬉しかった。先生との出会いは、高校への期待を生む。 授業では、先生から学び、友と学ぶ合う。そこで自分の得意、不得意を知る。不得意なところがあれば、積極的に先生に聞きに行くことができ、「どうしてできなかったのか」「なぜ間違えたのか」を教えてもらいながら学ぶことができる。不得意を克服することで、さらにできる自分を目指そうという気持ちが生まれる。 次に部活動での出会いだ。

## 学校は未来を創る場

自分の興味をもった部活動を自在に振ることの難しさを知った。この体験で、自分には力があること、ねらいをつけることが苦手なことを知った。軽音楽部の体験もした。先輩の演奏の

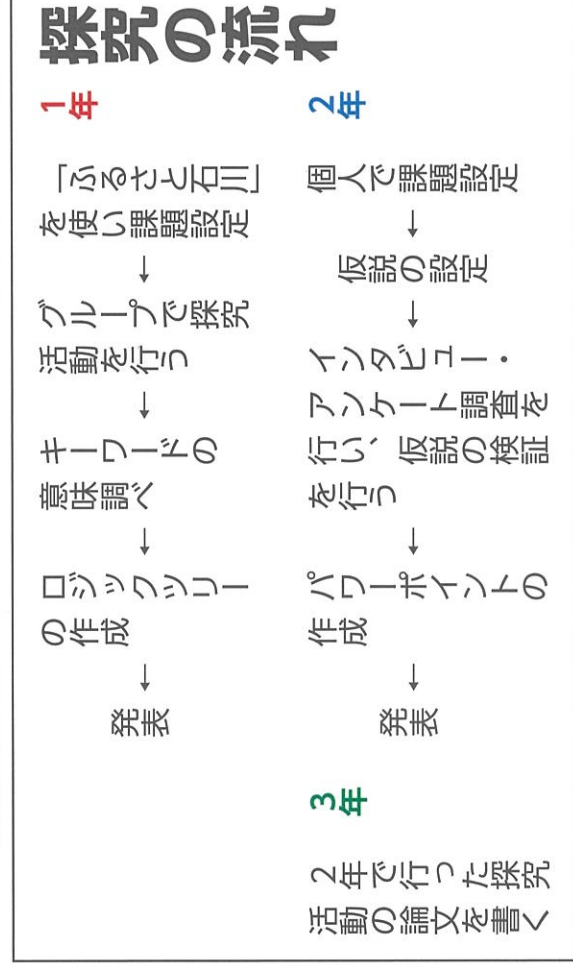
素晴らしさと重厚感に圧倒された。「なぜそのような演奏ができるのか」と興味をもち、軽音楽部に入学した。実際に人の活動に触れることは感動を生み、新たな自分を創ろうという思いが湧く。世界も広がる。逆に、学校という場で学ばない場合を考えてみたい。コロナ禍の現在は、学校でなくとも、学びの場が多数

用意されている。リモート、動画、家庭教師。通信や個人で学ぶチャンスは多く、学問的に自分を深めることは可能だ。学力向上だけが目的なら、学校は必要ない。しかし、そのような学びからは、不得意に挑み、自分を高めようとする気持ちは生まれにくい。なぜなら、人は不得意に挑む苦しみよりも、できる自分を感

じる方が気持ちいいからだ。学校は未来を創る場であり、学校で学ぶことには必ず意義があるのだ。

張りたい」という気持ちも生まれにくいのではないかとすれば、そのような学びは、自分の可能性や将来を縮め、自分の世界を狭めるのだ。実際に多くの人と関わり合い、うまくいかないことも含めて様々な体験をすることで、自分の可能性を感じ、広げ、よりよい未来になると考える。

# 調べて考えると社会は動く



探究活動の流れとして、1年次に「ふるさと石川」という冊子を使って、グループで学習を行う。探究活動の方法を学んだ2年次に個人で課題を設定し、発表

## 探究活動の流れ

探究活動のねらいについて、進路指導課の藤澤先生に話を聞いた。「2045年にAI(人工知能)が人間を超え、ほとんどの仕事がなくなるといわれている。そのため、与えられた仕事をこなすだけでなく自分で課題を見つけ、それを自分で解決する力がこれから必要とされている。その力を養うためにこの活動を行っている」と語る。本校では県からの要請で、去年は鹿西高校の生徒たちと合同でコスモアイル羽咋にて発表会を行って交流した。

## 探究活動の狙い

私たち新聞部は、3年前から始まった探究活動がどのような目的で行われているのか、また、どのような流れで活動しているのか気になり、探究活動について調べることにした。担当の藤澤先生にインタビューを行ったところ、この活動は、日本全国に先駆け、全国実施の1年前から先行実施の形で始まったことがわかった。また、各学年で取り組む内容が違っていることも分かった。羽高の探究活動を紹介したい。

## アンケート結果から

昨年(20)の1、2年生を対象とする、課題研究に関するアンケートを行った。質問は以下の通りである。(アンケート結果は下図参照)

- 1 課題研究は楽しかったか
- 2 課題研究を始める前の気持ちと、終了した今の気持ちとを比べて変化はあったか
- 3 課題研究に取り組んでみて、もともと難しいと思っていたところはどこか
- 4 課題研究を通してどのような力が身についたか
- 5 課題研究は、学力向上に役立ったと思うか
- 6 意見・感想

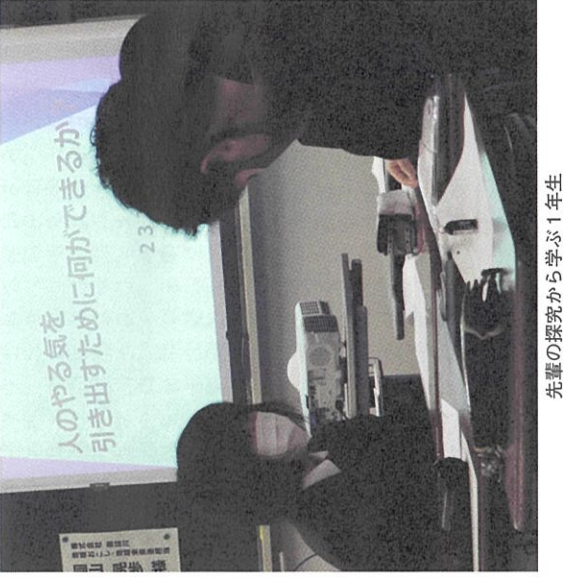
1では「とても楽しかった」と回答した人が約2割、「楽しかった」が6割弱という結果となった。この結果から、約8割の生徒が探究活動が楽しかったと感じていたことが分かる。また「どちらでもない」が約2割であることから、羽高生は探究活動について、否定的な感情は持っていないと言える。「楽しくなかった」と答える人が少ないのは、自分の好きなテーマに取り組むことができることが理由だと考えられる。ほとんどの生徒が探究活動に意欲的に向き合い、楽しめたことがわかる。

2では、「始める前から期待していたが、期待以上に良かった」と「始める前から期待していたが、期待通りだった」と「始める前は期待していたが、それほどでもなかった」と回答した人が合計して約6割であったことから、探究活動を始める前から、期待していた人が生徒の半分以上いたことがわかる。

3では、探究活動を始めるにおいて「一番重要なところである「リサーチクエスチョン(問いを立てる)」がもともと難しい」と回答した人が、約3割であった。2番目に多かった回答は、「分析・研究・考察」で、約2割という結果だった。このことから、探究活動で、最も重要な点について、生徒が難しいと感じていることが推測できる。昨年度の3年生の課題研究の論文集を調べたところ、リサーチクエスチョンにおいて、社会に貢献するような内容を課題とし、その問題に対して仮説を立て、検証する生徒の割合が約1割だったことから、羽高生は、社会的な問題に目を向けていないと思われる。学年を問わず、勉強や部活動に追われ、余裕がないことが原因だと考えられる。

4では、課題研究を通して「情報収集力」が身についたと回答した人が、最も多かった。2番目に「課題発見力」が身についたと回答した人が多かった。このことから、課題研究では、自分でインタビューをしたり、アンケートを取ったりした生徒が多いと推測できる。ほかにも、「よりよい社会を実現しようとする態度」が身についたと回答した人が一番少なかったのは、前述のとおり、社会に貢献するような内容を課題とした生徒の人数が少ないことだが、このような結果を生んだと思われる。

5では、「とても思う」と「思う」を回答した人は



先輩の探究から学ぶ1年生

合わせて約7割で、「わからない」と回答した人が2割を超えていた。生徒の4分の1が探究活動において学力向上が見込めなかったことが読み取れる。大半の生徒が探究活動は学力向上に役立つと感じたことは、取り上げたテーマが学力向上につながるというよりは、物事を深める探究の方法を知ったことで、勉強の仕方に変化が生まれたことがそのような感じ方を生み出したと思われる。

6では、「1年生の時にグループで探究活動するよりも、2年生になってから個人的に活動するのがいいと思う。1年生から探究はする必要がない」、「テーマ



コスモアイル羽咋で発表する石櫃君

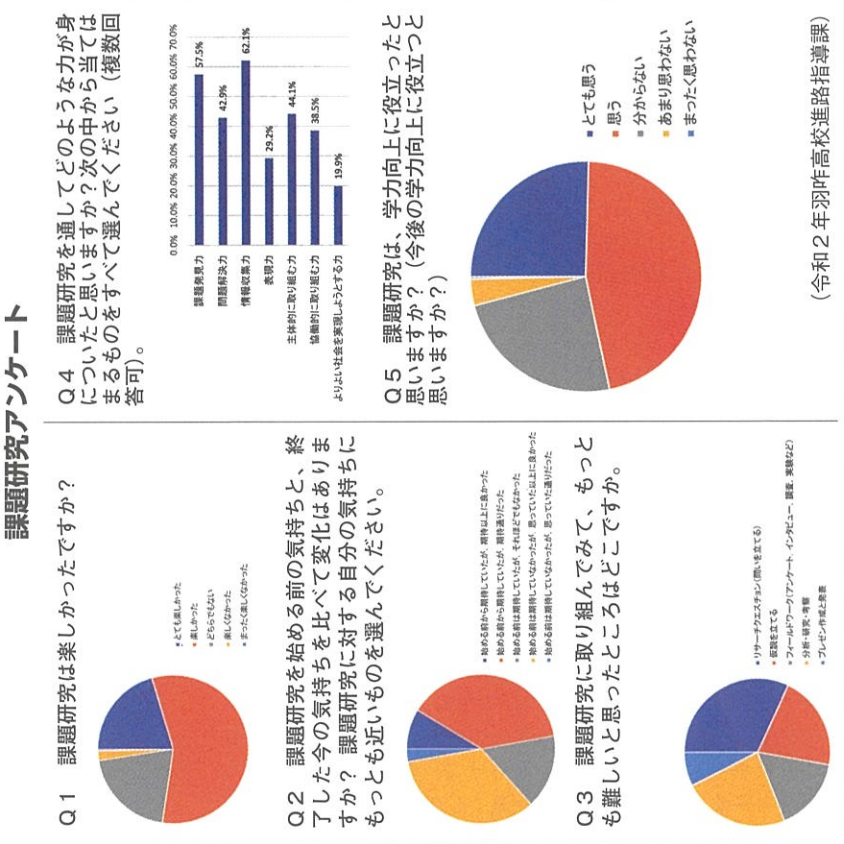
## 意義のある探究活動を

探究活動に関して取り上げようと思いきや、昨年度、コスモアイル羽咋にて発表してくれた2つの班以下の内容で調査を行った。

- 1 探究活動を通して、苦労したことは、何か
- 2 コスモアイルで発表したときやパワーポイント作成時に工夫したことはなにか
- 3 探究活動を通して身についたことは何か
- 4 1、2年生に向けて探究活動のアドバイスについて

まず、1つ目を紹介する。石櫃君の研究内容は、「スマホが私たちの身体に与える影響について」だ。研究背景は、最近スマホが急速に普及し「スマホの使い過ぎなどは身体に良くない」というイメージを抱き、身体に対してどのような影響があるのか、また、その原因は何なのかを知りたいと思ったからと言う。石櫃君は、それらを調査するために、アンケート調査、文献調査を実施した。調査の結果、スマホの利用によって現れる主な影響の原因はブルーライト、長時間の使用、スマホを見るとき首の状態によるものであり、横になって使用することが原因とはいえないと考察した。この探究活動を通して石櫃君は、1(苦労したところ)について、「仮説を立てて検証できなかったときに、苦しい仮説を立てることに苦しさや聞きやすさを考え、文字ができるだけ少なくなるように工夫した」と言う。

この探究活動を通して濱田班は、1について、「アンケートをたくさん取ったので集計に苦勞した。またアンケートに協力してもらったにさまざまな医療機関に電話をかけたり依頼文を送ったりするのにすごく苦勞した」と語る。2については、パワーポイントを選ぶからでも見やすいように背景を黒、文字を白にし、文字もつまりすぎないように工夫した。3については、「大勢の前で発表する機会が何度もあったので、度胸が付きました。物事を様々な角度から見て考えて、より深めていく力。社会に出てからも役に立つような経験もたくさんできました」と振り返る。4については、「ただ調べるだけならば、誰でもいつでもできます。せつかりの機会なので、しっかりと仮説を立てた上で、アンケート調査やインタビューなどを行い、考えをより深く、意義のある探究活動をしてください」と語る。探究活動を始めている1、2年生には参考にしていただきたい。



(令和2年羽高進路指導課)

# 身近なところから課題を発見!



能登の魅力を発信する北山班

元14日北山班では、「観光客を増やすためには」をテーマとして取り上げた。目的は、能登への観光客を増やすための方法を考えることであった。

研究背景は、能登の有名な観光地を、班員が知らなかったことに始まる。自分たちが能登のことを知らないなら、観光客が能登の魅力を知らないのは当然だということから、能登の魅力を改めて見つけ、その魅力を多くの人に広める方法について考えようということになった。

まずは、アンケート調査を行った。羽咋高校の1、2年生と先生方を対象とし、以下の質問をした。

- 1 旅行先の情報源は?
- 2 使っているSNSは?
- 3 若者におすすめのスポットは?
- 4 お年寄りにおすすめのスポットは?
- 5 海外の方向けのおすすめのスポットは?

5つである。

## 能登の魅力をどう発信? 年齢層別に考えた

元11日高班が福祉について取り上げ、「羽咋高校の福祉向上のために」と題して、パワーポイントを用いて発表を行った。

要旨は、「学校生活を送る中で、羽咋高校のために有意義な提案し、それを実現する」ことである。班員が足を怪我したことで、階段の上り下りが不便になった。そこで、福祉の視点を取り入れた発信をしてみようかということの研究背景としている。

羽咋高校は、今から51年



コスモアイル羽咋で発表した高班

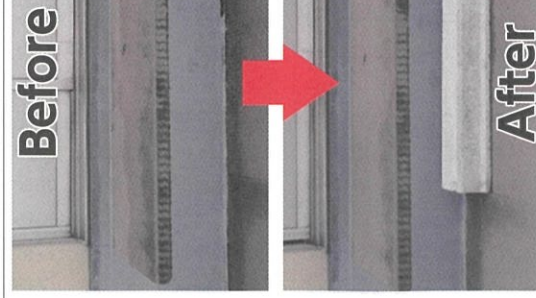
## 思いやりのある学校に 施設の面から考えた

前の昭和45年に今の校舎が出来上がり、その時から校舎に大幅な改修はない。学校祭を一般公開したときに不都合があるのではないかと「身体に障害のある方も来校するのでは?」という意見が出て、その方たちのためにも提案をしていくということになった。

研究手法は、校舎内を直接歩いて調査し、改善すべき点をまとめ、事務長に提案した。

提案したのは、全部で7項目で、次の通りである。

- 1 椅子式リフト
- 2 ダムウエーター
- 3 多目的トイレ
- 4 照明のLED化と照明の増設
- 5 スロープの幅の改修



改善された渡り廊下屋上

6 福祉用自動販売機  
7 出入り口の段差解消

7の「出入り口の段差解消」は、屋上の出入り口の段差が大きいため提案した。屋上に出るときに段差は、40cmあり、生徒にとつて上り下りがしにくい状態であった。これは、高さ15cmの

U字溝をひっくり返して設置することで、安定感もあり、上り下りしやすくなった。

この企画に取り組んだ元11日高君は、「人の幸せのために、これからも様々な発信をしたい」と決意を語った。

## 羽咋を福祉のまちに お年寄りの孤立化を防ぐには



発表に向けて準備を進める班員

1では、先生方も生徒もインターネットが一番多かった。2では、先生方も生徒もLINEが一番多かった。3、4、5は、若者向けには、のど水炭酸、千里浜、能登ミルクなどがあった。対して、お年寄り向けとしては、和倉温泉、千枚田、輪島朝市、気多大社などがあがった。海外の方向けには、千里浜、千枚田、和倉温泉などがあげられた。

このことから、それぞれ

元13日北山班では、「私たちの身の周りの高齢化」について取り組んだ。要旨は、高齢化が進む中で、高齢者の孤立化を防ぐために、お年寄り子どもが触れ合える場を設けてみればどうかということである。自分たちが住む町の医療・介護について調べる中で、これから取り組むべき問題は高齢者の孤立化ではないかと思ったことが研究背景である。

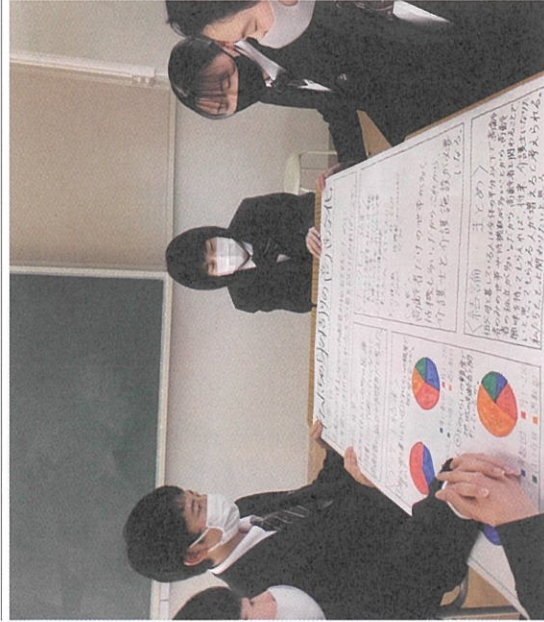
研究手法は、アンケート調査とインタビューである。アンケートは、羽咋高校の1、2年生を対象に実施した。

- 1 祖父母と暮らしているか
- 2 どれぐらいの頻度で祖父母と会うか
- 3 地域の高齢者と関わっているか
- 4 どのぐらいの頻度で地域の高齢者と関わっているか

1では、約4割の人が祖父母と暮らしていることがわかった。2では、自分の祖父母と頻りに会う人は4割にとどまる。3では、約7

割が地域の高齢者と関わっていると答えた。4では、全体の約7割が地域の高齢者と関わっていることがわかった。現状では、羽咋市では高齢者の孤立化は深刻ではないように見える。

インタビューを依頼したのは、羽咋市役所の健康福祉課介護・高齢者担当の職員である。そこで羽咋市の高齢者のみの世帯は、3003世帯あるということだ。一方、羽咋市の介護施設は



ボクスターセッションに向け工夫を重ねる米田班

最も難しいことは、介護士などの人材の確保である。高齢者に興味を持ってもらうこと、高齢者の特徴を知ることが必要だと考えた。方法として、子どもが高齢者に目を向ける機会を積極的に設けるべきだと考えた。

このような機会を作る場として、元13日北山班は「高齢者のみの世帯が3003世帯と聞いて驚きました。身近なところで高齢化が進んでいることを実感しました。ふれあいの場として、町では納涼祭や祭があります。学校では、文化祭、体育祭などでふれあいコーナーを作れば、高齢者と子どもをつながりができるのではと考えています」と語る。

元12日北山班では、地産地消について取り組んだ。きっかけは、環境問題で調べるうちに持続可能性につながり、その方法として地産地消に行き着いた。

研究手法は、羽咋市の道の駅やJAへの取材である。道の駅「神子の里」と千里浜インター近くにある道の駅「のと千里浜」の2つである。それぞれの駅長に電話インタビューを行った。

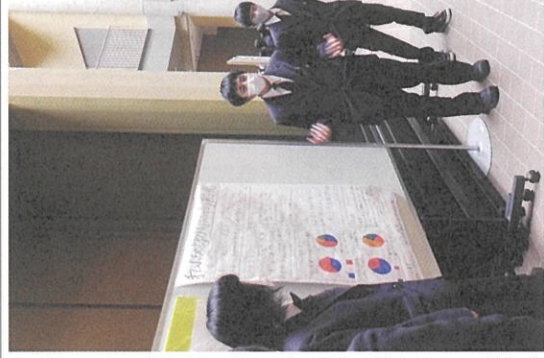
その調査の結果、どちらの道の駅も地域の特産品を重視し、地産地消に積極的に取り組んでいることがわ

## 地産地消を考える みんなが笑顔になる循環とは?

元12日北山班では、地産地消について取り組んだ。きっかけは、環境問題で調べるうちに持続可能性につながり、その方法として地産地消に行き着いた。

研究手法は、羽咋市の道の駅やJAへの取材である。道の駅「神子の里」と千里浜インター近くにある道の駅「のと千里浜」の2つである。それぞれの駅長に電話インタビューを行った。

その調査の結果、どちらの道の駅も地域の特産品を重視し、地産地消に積極的に取り組んでいることがわ



羽咋の福祉向上について語る米田君

老人ホームとデイサービスが53戸で、介護士数は740人である。待機数は94人で、市は介護士と介護施設を増やしていかなければならない状況になると考えている。

JAには直接出向いてインタビューを行った。羽咋市の農業は先進的であること、地域の農家を元気にするサイクルをうまく作っていることがわかった。

羽咋市で作っている農作物は種類が多く、旬の季節に出荷される季節ものも、一年中供給されるものがある。JAでは、農家から供給されたものを直接販売するだけでなく、加工して商品化している。「産業の六次化」と言われるものである。JAで特に力を入れているのは米、ハト麦、さつまいもの3品目である。



羽咋の取り組みを紹介する居田君

羽咋の米は、特に自然栽培を特徴としている。無農薬のリンゴ栽培を世界で初めて成功させた青森の木村氏からノウハウを学び、無農薬、無肥料で、土地の力をいかした米栽培を行っている。また、かかしの設置を特徴とするエコ栽培能登米もPRしている。その自然栽培米、エコ栽培能登米

の玄米を圧力をかけて炊き上げた、もちもち食感のパックご飯「はくいブラウライス」は、コンビニ等でも販売される商品である。さつまいもはペースト状にして冷凍して、業務用として販売している。また、ハト麦は、農家を守るために高値で買い取り、それを独自に商品化している。茶や化粧品、焼酎のほか、丸ごと栄養を取ることができるよう、粉末にして販売している。

元12日北山班の浦辺さんと米田さんは、今回の調査について、次のように語った。「インタビューしたいところに電話をしても、なかなか予定が合わず、苦勞しました。電話インタビューと直接インタビューをしましたが、

直接の方が自分たちの目で見て、その場で質問ができるので、有効だと思いました。「産業の六次化」については、自分たちだけでなく、地域や環境全体を視野に入れて考えていることがわかりました。日本全体にこの考え方が広がれば、ますますいいのではと思いましたが」と語る。



羽咋の特産品をいかした商品のリーフレット

# 羽高生の結婚観の変化

## ——時代の流れとともに——



### 先生の結婚観に迫る!

#### 人生をうるおす結婚

私たちは、結婚に関するアンケートを生徒に実施した際、人生の先輩である先生たちの結婚観について気になり、結婚15周年を迎えた22日担任の大井先生にインタビューを行った。

**Q1** 先生はなぜ結婚したのですか？  
前提として、付き合っていたことと一緒に過ごせたことが多くてはば一人っ子状態だったから1人はさみしいっていうのもあったと思う。大人になったら付き合った人と結婚するっていうのがあったからかな。笑

**Q2** 結婚の決め手は何ですか？  
決め手というかタイミングかな。

**Q3** 先生は結婚には何が必要だと思いますか？  
経済的な余裕は最低限必要だとは思わない。責任感

て言ったら重くなるけど、人生を楽しく過ごすための結婚やし大事やと思うな。

**Q4** 26歳での結婚は早いと思ったんじゃないですか？  
そうやね。まわりで結婚してる人も少なかったし、仕事し始めたばかりで未熟なこともあったかもね。

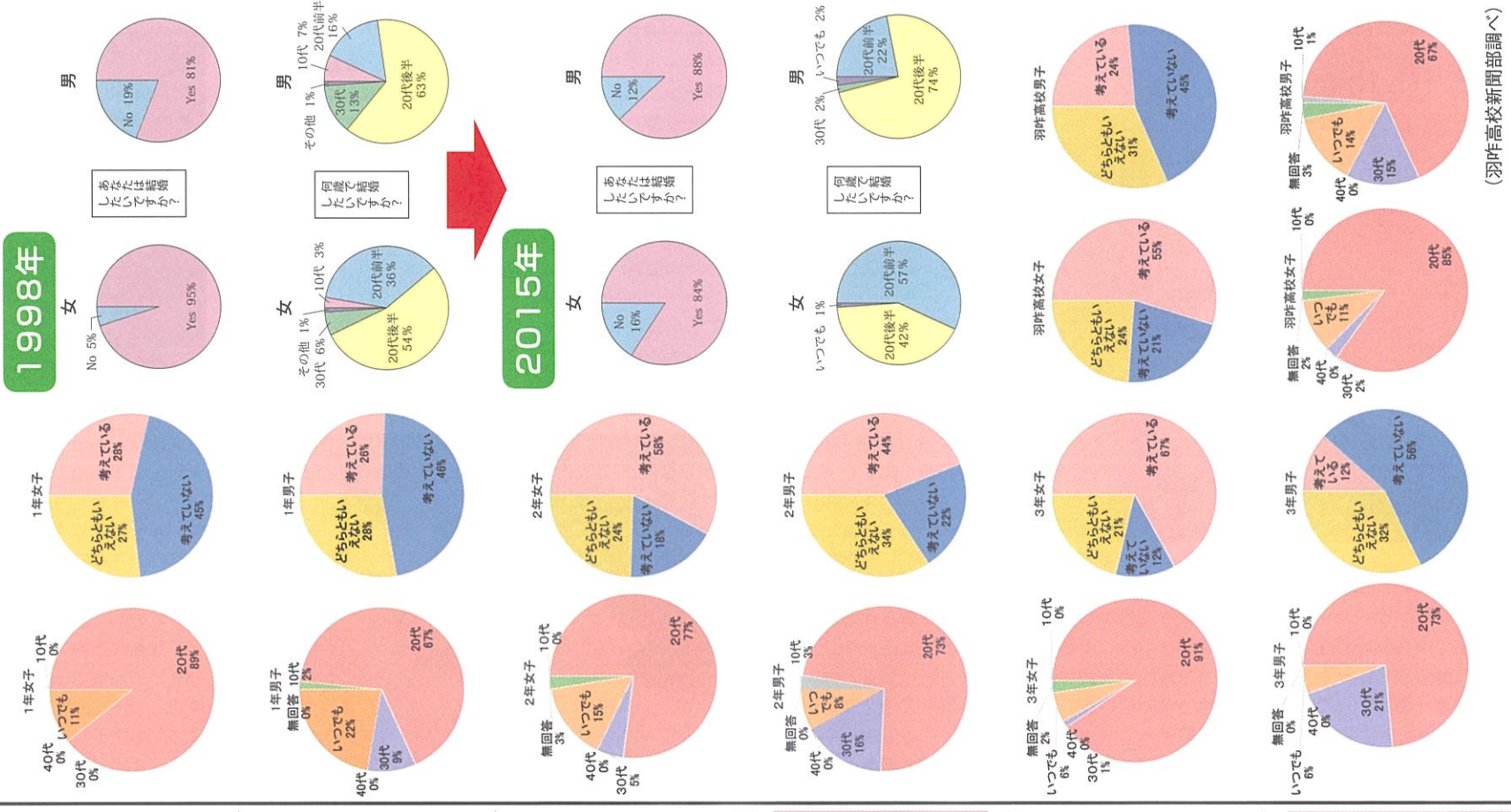
大井先生の話から経済面で安定や仕事への慣れなど結婚に必要な要素が分かった。20代という理想にこだわらず、自分の将来に適した結婚をすることが大事だと考える。

### 年齢や性別による

今回行ったアンケートでは、3年生の女子と2年生の男女で結婚を考えていると回答した人の割合が過半数を占めていた。しかし、1年生の男女、3年生の男子は結婚を考えていないと回答した人の割合が過半数を占めていた。この結果を受け私たちは、特に1年生の男女が結婚を考えていないと回答した割合が多かったことに疑問を抱いた。そこで、1年生の結婚を考えていない、どちらともいえないと回答した人にインタビューを行った。なぜ、結

### 調査するきっかけ

新聞部では、身近なところで考え方が多様になっているか調べたいと思い、羽昨高校生にアンケートを実施した。現在、世界では多様性を認める流れにある。羽昨高校生の学年や性別による考え方の違いや本校の昔と今の結婚観の変化を視覚化して捉えるためにまず、今回行ったアンケートを学年、性別ごとに比較した。そして次に、1998年と2015年に行われたアンケートと今回行ったアンケートを比較した。



### 羽高生の変化

ここまで学年、男女別に比較してきたが、過去の2つのアンケート結果と今回のアンケート結果を比較してみる。どの年代も男女ともに共通していたのは、結婚を考えていると回答した人の割合が1番多かった点と20代で結婚を考えている人の割合が最も多い点だった。細かい部分の変化を比較していく。変化した点として、1998年と今回の結果を比べると10代で結婚を考えている男女の割合が減ったことと30代での結婚が視野に入っている生徒が多かった。男性は妊娠の時期を考えた点や仕事を安定させてから結婚したいと考えている人が多かったらうと考えた。他学年とは違い1年生は、男女ともに考えている割合が多かった。これは、男女とも大学の進学率の増加や就職率が増加していることが背景として考えられる。

次に2015年と今回のアンケートを比較する。すると、結婚を考えていないと回答した男女の割合が増えたことが分かった。これは、先ほども述べたように

### 時代の变化とともに

今回行ったアンケートを通して、羽昨高校生の結婚に対する価値観は学年や性別の違いなどの個人差によって多様になっていることが分かった。これは、世間一般にも言えることだろう。以上見てきたように、羽昨高校生の考え方も時代の移り変わりとともに少しずつ、しかし確実に変化してきていることが分かった。これから多様性を認めていく時代の中で、羽昨高校の生徒も先生方も多様性を認め、共存していくことが当たり前になっていく学校になればとても喜ばしいことだ。

### 羽高生の理想は高すぎ?

羽高生に実施した結婚に関するアンケートの結果と厚生労働省の統計を基にしたデータを比較したところ、羽高生の結婚に対する考えと社会全体の傾向にズレがあった。まず1つ目は、結婚率の推移である。羽高生は結婚を考えているという生徒が過半数を占めていたが、社会では20代での未婚率は80%から90%の間である。加えて社会では、年々生涯未婚率が上がってきている。2040年には、男性の約30%、女性の約20%の人が生涯未婚者になっているだろうと言われている。原因としては、経済面における結婚の難しさや男女の所得格差など、経済的な問題があげられる。つまり、最近では年収が高いことが結婚する前提として必要とされている。

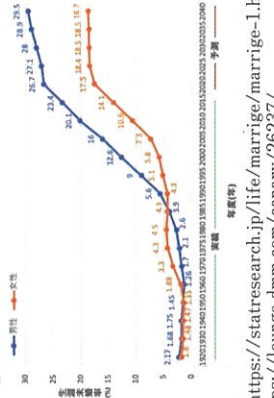
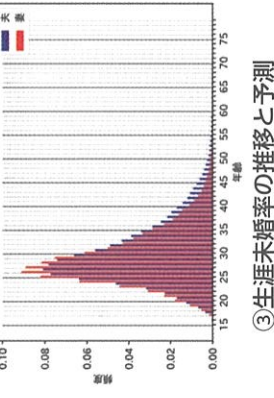
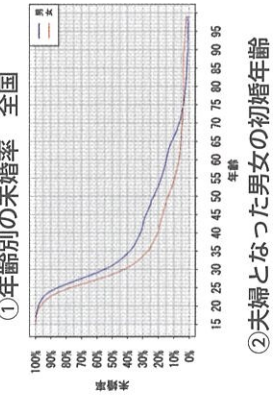
2つ目は、初婚年齢の違いである。羽高生は20代で結婚したいと考える人が大

多数を占めていたが、社会では30代以降に結婚している男女の合計のほうが多かった。結婚の理想はあるが、実際社会に出てみると仕事などが原因で結婚のタイミングが合わなかったり、そのタイミングで相手がいなかったりといったことが原因としてあげられる。このように結婚に対しての羽高生の理想と現実に必要なギャップがみられる。理想の時期に結婚するためにも、羽高生は勉学に励み、いい職に就くことを勧める。

## パートナーシップ制度で変わる常識

金沢市では、「金沢市人権教育・啓発行動計画」に基づき、「すべての市民が日常生活の中で人権を意識し、多様な人々がお互いの違いを認め合い、お互いの人権を尊重し合う社会の実現」を目標とし、その取組みの一つとして「金沢市パートナーシップ宣誓の取扱いに関する要綱」を制定し、令和3年7月からパートナーシップ宣誓制度が開始される。パートナーシップ宣誓制度とは、戸籍上の性別を問わず、お互いを人生のパートナーとして、日常生活において、責任を持って相互に協力し合うことを約束した2人のパートナーシッ

ブ宣誓の届出を市が受領し、宣誓書受領証および受領カードを交付する制度のことである。これにより市営住宅への入居や、市立病院への入院、医療に関する同意等の行政サービスが利用できるようになっている。また、この制度は2015年11月に東京都の渋谷区と世田谷区で同時にスタートしたのが始まりだ。2021年4月時点では、導入している自治体の数が100を超えた。この数年でLGBTQに対する意識が変わっているのだと思う。これからより良い方向に進んでいくために一人一人の考え方を変えていくことが大切だ。



①② <https://statresearch.jp/life/marriage/marriage-1.html>  
③ <https://lounge.dmm.com/canary/26237/>

# 成人式は18歳? 20歳?

私たち新聞部では、2022年の成人年齢引き下げに伴う、翌年の成人式の問題について、インタビューをして調査した。また、羽高生にアンケートを行い、成人式に対する見方を調べた。

## 日本の対応はバラバラ

まず最初に皆さんが気になるのは石川県の成人式への対応だろう。現時点(6月)で詳しく公表している市町村はないのだが、石川県内の19の自治体のうち、9の自治体が20歳を対象に2023年の成人式の開催を予定している。この9の自治体のうち、かほく市の成人式への対応について、かほく市役所の菊田さんに直接インタビューを行った。1つ目の質問「18歳から20歳の3学年同時に成人式を開催しますか」について、2023年にかほく市が開催する成人式は、18歳の大半が大学受験や就職準備の年にあたり、本人や家族の負担が大きいと考えられるため、これまで通り20歳を対象として実施することが決定しているという。

次に2つ目の質問「開催する予定の日程は」について、日程は検討中でまだ決

定しておらず、県内10の自治体が1月の成人の日付近での開催を決定しているところ、そのほかの自治体の状況を確認しながら日程や日時を検討していくという。開催場所や予算などについては例年通りの予定だそう。では全国の成人式への対応はどうだろう。三重県の伊賀市は2023年から成人式の対象年齢を20歳から18歳に変更し、2023年1月8日、19歳になる人は同年3月19日、18歳になる人は同年5月4日に行う。伊賀市長や教育長がこの対応の理由として、「全員が18歳を迎え、なるべく早いタイミングでやっていきたいと考えてきた」、「参政権も持つようになり、しっかりと大人の意識を持つてもらい、再会したりすることだけが

成人式の意義ではない」と述べた。引き下げられる理由 日本は明治9年より20歳を成人年齢として扱ってきた。しかし、近年国民投票の投票権年齢や公職選挙法の選挙権年齢が18歳に引き下げられたことをきっかけに、これまでも議題に上がっていた成人年齢を見直すことになったのだ。何度か成人年齢が議題に上がった経緯には世界の成人年齢が関係しており、世界では18歳成人がスタンダードである。できること、できないこと 成人年齢引き下げにより、これまで18歳にできなかったことができるようになる。主に携帯の契約、クレジットカードをつくる、一人暮らしの部屋を借りることなどが親の同意なしで契約できる。他にも10年有効パスポートを取得できる、性別同一性障害の人が性別の取り扱いの変更審判が受けられるなどがある。健康被害や依存症対策を考えて飲酒や喫煙、競馬、競輪、養子を迎えるなどはこれまでと変わらず20歳にならないとできない。起こりうる問題と対処法 では、成人年齢引き下げによりどんな問題が起こりうるか。未成年者の場合、契約には親の同意が必要であり、もし未成年者が親の同意を得ずに契約した場合には、民法で定められた「未成年者取消権」によって、その契約を取り消すことができる。この未成年者取消権は、未成年者を保護するためのものであり、未成年者の消費者被害を抑止する

役割を果たしているが、成年に達すると、親の同意がなくても自分で契約ができるようになり、未成年者取消権は行使できなくなる。つまり、契約を結ぶかどうかを決めるのも自分なら、その契約に対して責任を負うのも自分自身になる。契約には様々なルールがあり、そうした知識がないまま、安易に契約を交わすとトラブルに巻き込まれる可能性がある。困ったとき、おかしなことなど思ったときにはしっかりと相談することも大事なのだ。

こうした消費者トラブルに遭わないためには、未成年のうちから、契約に関する知識を学び、様々なルールを知った上で、その契約が必要か、よく検討する力を身につけておくことが重要である。消費者トラブルに巻き込まれた場合や困ったことが起きてしまった場合の相談窓口として、消費者ホットライン「188(いやや)！」が設置されている。困ったとき、おかしなことなど思ったときにはしっかりと相談することも大事なのだ。

## 世界の成人式は奇酷

まず、主要国の成人年齢を見てみると、イギリス、イタリア、オーストラリア、スイス、中国、フランスなどは成人を18歳と定めており、世界では半分以上の国が18歳としている。またアメリカのように州によって規定が違ったり、ネパール、キリギスタン、アエルトルコなど一部18歳未満の成人年齢の国もある。成人年齢が18歳未満の国は主に、発展途上国といわれる国が多く、理由の一つに高等教育が先進国ほど普及していないということがあげられる。大学進学が一般的になると、卒業して仕事に就く若者が多くなるため、大学卒業の年までは「大人」としてみることは難しくなってしまう。昔は成人年齢を20歳としていたヨーロッパ諸国だが、各国の選挙権などを巡った学生運動により引き下げられ、今では18歳としている国が多い。

命がけの成人式? 日本では成人式は、スーツや袴、振袖などの正装で、地方公共団体ごとに1つの会場を貸し切って講演会や

パーティを開くというのが一般的である。参加も任意で、講演も1時間程度で終わるので、和やかで穏やかな儀式と言えるだろう。しかし、世界では命をかけるような危ない成人式、成人の儀式がある。最初に紹介するのはバヌアツ共和国の成人式だ。世界でアトラクションとして人気なバンジージャンプだが、その原点はバヌアツ共和国で行われる「ナゴール」という成人の儀式だ。成人を迎える人は、ナゴールのために用意された30メートル近くの木のやぐらを上り、つべんで自分の足に木のツルを巻き付ける。このツルはヤマイモを使うが、アトラクションのバンジージャンプで使用されるゴムロープと異なり、まったく伸縮性がないため、落下の衝撃でツルが切れることもあるため、命がけの試練になる。次に紹介するのは、ブラジル・アマゾンの原住民であるサテラ・マウエ族の成人の儀式「バレットアントグ

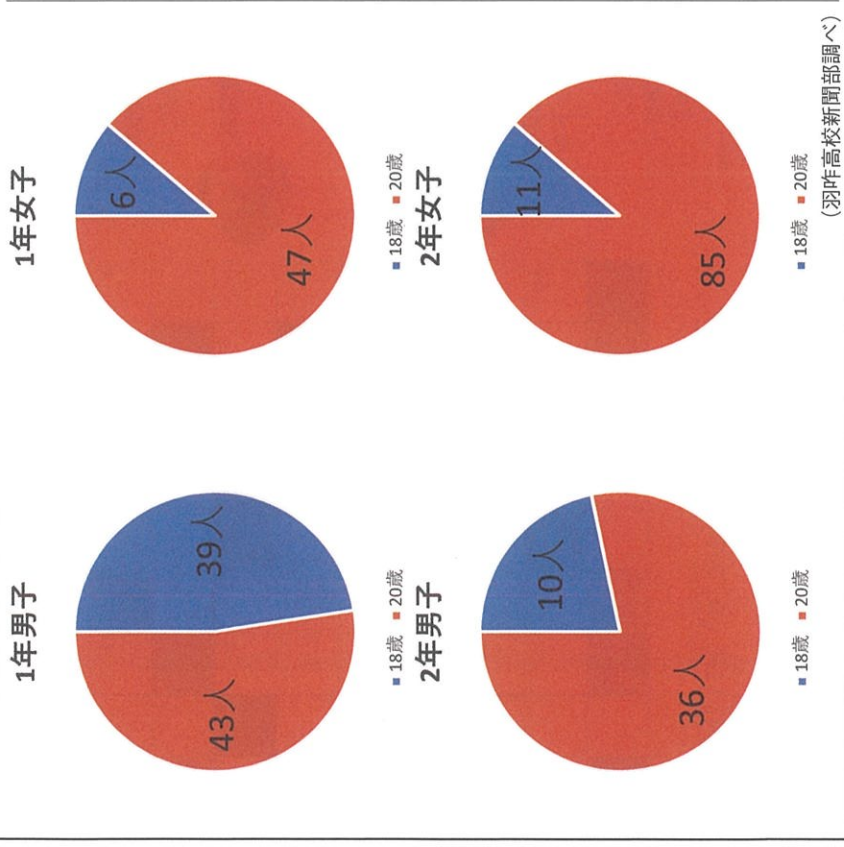
ロープ」だ。バレットアン



トは「バラボネア」という名前アリのこと。刺されるとまるで銃に撃たれたときのようなきさましい痛みが走ることから「弾丸バレット」という通称がついた。という恐ろしいわくつきの毒アリである。サテラ・マウエ族では、成人の儀式を迎える前に、自ら森の奥まで分け入ってバレットアントをつかまえ、手製のグローブ(手袋)に縫い込んでいく。そして儀式では、なんとそのグローブの中に10分も間、手を突っ込むのだ。当然、バレットアントに刺され続けると長時間激しい痛みとしびれに苦しむことになるが、これこそが成人になるための試練。見事乗り越えた若者は暗れて成人となり、一族の間で一人前と認められる。他にも、エチオピアの少数民族ハンナ族の、牛を10頭ほど1列に並べて、

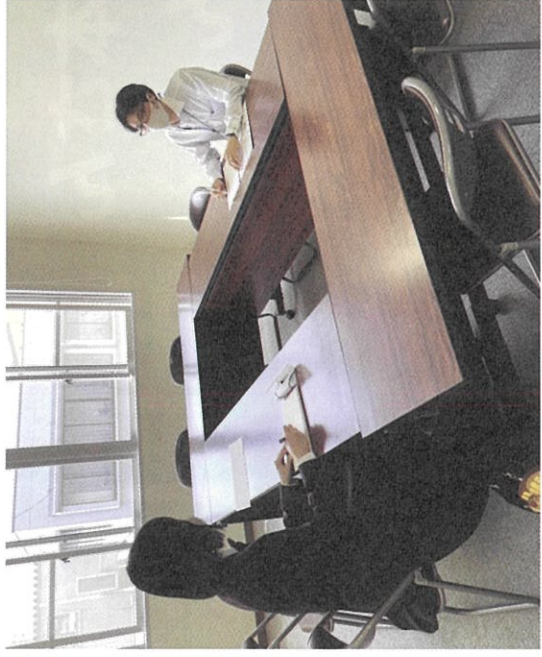
## 羽高生に聞いてみた! 成人式、何歳がいい?

私たち新聞部では、羽高生1、2年生を対象に、「成人式をするなら何歳がいいですか」というアンケートを実施した。左図のグラフがその結果だ。まず1年生からみると、女子は圧倒的に20歳で行いたい人が多いのに対し、男子は18歳で行いたい人と20歳で行いたい人がだいたい半分ずつという結果になった。このことから、1年生は男女で成人式に対する見方の違いがみられた。



次に2年生は、男女ともに20歳で行いたいという人が多くみられた。全体をみると、1年生の男子だけ、18歳で行いたい人が多いことがわかる。理由については、まず1年生の18歳で行いたい人からは、「本来の元服の年に近いから」、「高校卒業を節目に、大人の自覚ができると思うから」、「大学は県外に行く予定で、成人式のために帰ってくるのは大変そうだから。」などがあげられた。1年生の20歳で行いたい人の理由としては、「今までの年齢でしたほうが誤解を招く心配がないから」、「言ながらのならわしを大事にしたいから」、「18歳でお酒を飲む人ができてさうだから。」などがあつた。次に2年生の18歳で行いたい人の理由としては、「若いから」、「成人年齢と成人式の年が一緒だとわかりやすいから」、「高校を卒業する年齢だから」、「早く自立したいから。」などがあげられた。また2年生の20歳で成人式を行いたい人の理由では、「飲酒ができたり、

たばこが吸えたりすると成人という実感がわくから」、「18歳だと受験があり、勉強で大変だから」、「ほかの学年と一緒に成人式をしたくないから今まで通りがいい。」「20歳のイメージが大きいから」、「18歳だとまだ高校生なので、髪の毛を染めたり、ピアスをつけたりなどのおしゃれができない。」「小学生、中学生のときの友達と長い時間をあけて、久しぶりに会いたいから。」「タイムカプセルに20歳の自分への手紙を書いたから。」などがあつた。1年生も2年生も共通して、20歳で行いたい人は、「飲酒ができるから。」「成人式でお酒を飲みたいから。」といったお酒に関する理由が多くみられた。18歳が成人でも20歳からできることの特別感は大きいようだ。羽高生は1年生、2年生、男子、女子で成人式に対する見方がそれぞれ違ってくるのがわかった。



かほく市の成人式について語る菊田さん

(羽高高校新聞部調べ)

### もつこつ羽咋高校へ

① 旅行、映画  
② 羽咋高校  
③ キリン  
④ 家族旅行  
⑤ 明るく、元気で、前向きに

校長 梅本浩照

① 映画鑑賞  
② 羽咋高校  
③ 馬  
④ マスクなしの生活  
⑤ OBとして、皆さんの活動と活躍をサポートしていきます。

国語科 松田翔子

① 秘密  
② 羽咋高校  
③ ノルウェージュンフオレス トキヤット  
④ 食べ歩き  
⑤ 情熱とは、どうでもいいと思わないこと。

地歴・公民科 羽部大輔

① 散歩  
② 羽咋高校  
③ タギユアタキユアラゲー (顔が似ている)  
④ 旅行  
⑤ よろしくお願ひします！

数学科 大井智彦

① スポーツ観戦  
② 同級生が300人いる学校です。  
③ 熊  
④ 旅行  
⑤ 一緒に盛り上がる

数学科 山本幸平

① 音楽を聴くこと、散歩  
② 金沢西高校  
③ キリン  
④ スイーツバイキングに行く！  
⑤ よろしくお願ひします

理科 干場麻美

① 旅行、読書、最近できているけれどバドミントン  
② 金沢二水高校  
③ 羊、ウサギみたいといわれたことがあります。

英語科 山外百合恵

① 山登り  
② 羽咋高校  
③ 家族に「サル」と言われることがある。  
④ 旅行に行きたいです。  
⑤ コロナ禍で大変な時ですが、充実した時間を過ごしてほしいです。

理科 高木義雄

# 陸上競技部橋本さん 全国へ 弁論の上野さん



令和3年度は、県高校総体・総文が開催された。前期は陸上競技を中心として、5月27日から29日に、後期はその他の部活動で、6月3日から6日に県内各地で行われた。

各部の結果は次のとおりである。

陸上競技部	
男子	個人 (北信越大会出場)
ハンマー投	ベスト8 平田 新星 (北信越大会出場)
1位 清水 貴汰 (北信越大会出場)	
女子	団体 3位 (北信越大会出場)
ハンマー投	個人 (北信越大会出場)
3位 橋本帆乃花	
やり投	ベスト8 中越 優里 (北信越大会出場)
2位 橋本帆乃花	
円盤投	ベスト8 中越 優里 (北信越大会出場)
2位 橋本帆乃花 (以上北信越大会出場)	
剣道部	
男子	個人 4位 古川 雅人 (北信越大会出場)
団体	3位 (北信越大会出場)

やり投でインターハイ出場を決めた橋本さん

男子 単独演武3位 松田 開意 (北信越大会出場)

女子 単独演武6位 岡田 幸 (北信越大会出場)

6月19日、20日に、北信越大会が開かれた。結果は次の通りである。

陸上競技部

やり投 4位 橋本帆乃花 (インターハイ出場)

剣道部

なぎなた部

女子団体試合 3位 (北信越大会出場)

空手道部

男子団体組手 3位 (北信越大会出場)

バレーボール部

男子 ベスト8

バドミントン部

男子団体 ベスト8

柔道部

男子個人戦

81kg級 2位 清水 貴汰

81kg級 5位 藤岡 響基

7位 今井 翔梧

8位 北村 幸陽 (北信越大会出場)

少林寺拳法同好会

男子 単独演武3位 松田 開意 (北信越大会出場)

女子 単独演武6位 岡田 幸 (北信越大会出場)

## 熱戦!! 球技大会

7月5日から7日にかけて、校内球技大会が開催された。例年、全学年で二回行われていたが、新型コロナウイルス感染対策のため、昨年から学年ごとに行われている。3限まで授業を受けた後、昼食を摂り、午後から始まる。5日は3年生、6日は1年生、7日は2年生の順であった。昨年度までは、ソフトボールとバレーボールの2競技であったが、今年度はバレー



ボールのみであった。各学年の優勝は次の通りである。

3年生

男子 33 A

女子 35 A

2年生

男子 21 A

女子 23 C

1年生

男子 14 A

女子 11 B

次のように語る。「コーチや顧問の先生、富士大学の本田先輩の指導を受け、次の大会で記録を伸ばすことができました。コロナ禍でも開催されることに感謝し、力を発揮して、自己ベストを目指したいです」。

また、昨年度の石川県高等学校「私達の主張」発表大会で優秀賞を獲得し、全国総合文化祭弁論部門に出場する上野菜潮さん(23H)は、「主張大会で全国大会に出るのが初めてなので、緊張しますが、いつも通りに楽しみたい。上位入賞を狙っています」と目を輝かせる。

### 縦のカギ

- 1 羽咋高校の校長先生の名前は？
- 3 10月頃に行われる千里浜海岸を走るイベントは？
- 7 新聞部の顧問であり国語科の先生の名前は？
- 8 日帰りの旅行の何ををなんとしようか？
- 12 羽咋高校のALTの名前は？
- 14 原子番号47、元素記号はAgである貴金属は？

### 横のカギ

- 1 羽咋高校の文化祭の名称は？
- 2 物事のはじめ、最初を意味する言葉は？
- 4 疫病の流行を予言したとされる妖怪の名前は？
- 5 石川県の方言で馬鹿を表す言葉は？
- 6 ミルクボーイのネタに出てくる「○○○やないかい!」○○○に入るものは？
- 9 だるま風人形の石川県観光PRマスコットキャラクターは？
- 10 空いた時間を適当な方法ですぐのこと。
- 11 ○○○○証拠。○○○○にはい言葉は？
- 13 羽咋高校と姉妹校である学校の名前は？
- 15 動物の持つ組織のひとつで、収縮することにより力を発生させる運動器を何というか？
- 16 ワイヤシャツなどの首まわりに巻いて結び、飾りとする細い帯状の布は？

① イルカ  
② 旅  
③ 本気を楽しみにしています

理科 干場麻美

④ 国内も海外もいろんなところに旅行に行きたいです。  
⑤ マスク越しでなかなか難しいですが、早く皆さんの顔を覚えられるように頑張ります。

事務長 萩原幸治

① 山登り  
② 羽咋高校  
③ 家族に「サル」と言われることがある。  
④ 旅行に行きたいです。  
⑤ コロナ禍で大変な時ですが、充実した時間を過ごしてほしいです。

理科 高木義雄

⑥ 記憶に残る思い出深い時間になるよう、高校生活を存分に楽しんでください！

学務員 中橋みるき

① 山登り  
② 羽咋高校  
③ 家族に「サル」と言われることがある。  
④ 旅行に行きたいです。  
⑤ コロナ禍で大変な時ですが、充実した時間を過ごしてほしいです。

理科 高木義雄

⑦ 読書  
⑧ 辰巳丘高校  
⑨ ナマケモノ  
⑩ 県外までドライブ  
⑪ 頑張るのも良いけど、頑張りが過ぎて体調を崩さないように、休める時間は全力で休め！

主事 大門留美

### 編集後記

人数が増え、発行回数が増えました。皆が楽しめる新聞を作って行きます。

部員が増え、できること、ぜひ読んでみてくださ。次号もお楽しみに！

初めの新聞作成で、不慣れなことが多く大変でしたが、楽しかったです。(松下)

初めの新聞作成。苦勞もありましたが、とても楽しかったです。(大多)

初めの作成で、インタビューなど、いろいろな体験ができて良かったです。(うめもと)

初めてで分からないことはあつたけれど、無事完成して良かった。次の活動を良くしたい。(谷口)

作り方や社会の問題について勉強になりました。(ゆうれい)

初めのインタビューや記事の打ち込みなど、先生のアドバイスで楽しかったです。書くことができました。(H・S)

初めの新聞を書いて、新聞には人の思いが詰まっていることがわかった。(H・S)